

「総ぐるみ」新聞

NPO総ぐるみ福祉の会

住所 横浜市港南区日限山4-39-10日限山ハイツ101号室
電話 045-846-8850 FAX 045-370-7272

地域包括ケアシステム時代の「たまり場」として活用も

1月23日からNPO総ぐるみ福祉の会は、現在の日限山ハイツ101号室に加えて2階部分の201号室も借りて、事業所スペースを倍増しました。

新しく借りた201号室は、介護保険事業関係の事務所などとして活用しますが、従来の1階・101号室については、毎週火金にオープン

する「日限山荘」のように、NPO会員ならびに地域の皆さんが気軽に立ち寄り、おしゃべりや趣味を楽しむスペースとして解放することを考えています。

芸サークル」をさらに充実させ、新たな企画として「パソコン勉強会」「ウォーキング相談会」など趣味を楽しむ企画のほか、気軽におしゃべりを楽しめる「ミニ・デイサービス」などの実現を構想しています。

具体的には、現在でも実施している「Cafe 総ぐるみ」「男の料理」「手

地域のNPOが重視される時代が来る

された具体例に地域の福祉関連NPOの活用があります。

くわしくはその都度、



101号室の上の2階部分も事業所となります

平成27年の介護保険制度改正で、要支援1と2の方を対象とする介護予防訪問介護と介護予防通所介護（デイサービス）が介護保険サービスから除外され、二つのサービスは市町村の「介護予防・日常生活支援総合事業」に段階的に移行することになりました。その結果として打ち出された

構想の一つが「地域包括ケアシステム」。これは横浜市の計画によれば「高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される体制」とのことです。これを実現するための具体的な対策の一つとしてクローズアップ

「NPO総ぐるみ福祉の会」にいらっしゃる時代が来ます。NPOの力も借りようというもの。まさに当会の存続意義が試される時代が来ました。

「初釜」で平成29年行事の幕開け

1月11日、自治会館1階で第7回目の「初釜」を開催。新年を祝いました

NPO 総ぐるみ福祉の会の新年最初の行事として、恒例の「初釜」を開催。参加の皆さんは35人。座ることが難しくなった方が増えたため、今年は「いぶき会」の皆様のお力添えをいただき椅子が使える自治会館1階で行いました。

お点前の指導は大橋綾子さん。



当会が初釜を開催したのは平成18年、事情により開催できなかった年もありますが、今年で7回目を迎えることができました



一服のお茶に花びら餅、お弁当とお酒を添え、新しい歳を迎えることができた幸せをかみしめる一時を体験することができました。また「初釜」に色を添える演し物として、藤見家さん、鎌田さん、松永さんにお得意の芸を披露していただきました。

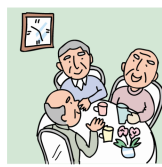


左から「夫婦三味線」を踊る藤見家実富士さん、「だんなさま」を踊る鎌田悦子さん、「宝船」と「富士山」を吟詠する松永高明さん

「総合事業」に本格的に取り組みます

本紙1面で述べたように介護保険法の改正により「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まり、高齢者の介護を専門の介護事業者だけではなく地域の人人で支えあう時代がやってきます。

この事業のねらいは、
①高齢者自身が社会参加することで他人との交流を深め、
いつまでも元気で暮らせる地域社会をつくる。



②高齢者自身がボランティアとして働ける機会をつくる。
③利用制限の多い介護保険のサービスとは異なり、適切な価格で、きめ細かいサービスを提供する仕組みをつくる等です。

NPO 総ぐるみ福祉の会は、新しい介護サービスの時代に先駆けて、先ず事業所の「たまり場」を拡充しますが、今年の

課題として有償サービスの拡充を考えています。

例えば、①調理、掃除、



買い物、接客接待などかんたんな家事の代行、②家具の移動、衣服の整理、不要品の処分などの整理整頓、③風呂やトイレの掃除、窓サッシ、網戸などハウスクリーニング、④草むしり、植木伐採、剪定・摘果など庭の管理、⑤クルマを使った病院や診療所などの移送介助などです。



こうしたサービスの提供として、当会では「有償ボランティア」の募集も行う予定。一定の研修を受けていただいた後、それぞれの方が持っているスキルを実現する場を提供していきたいと考えています。くわしくは本紙次号でお知らせします。